



海の道むなかた館年報 vol.8

令和元年度の報告
～宗像市郷土文化学習交流館年報～



宗像市教育委員会

はじめに

宗像市郷土文化学習交流館「海の道むなかた館」は、宗像市の博物館として、また、平成29年7月に世界文化遺産に登録された『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」のガイダンス施設としての役割を担っています。平成31年2月には、平成24年4月の開館以来、入館者数が100万人を突破しました。これもひとえに、多くの皆さまのおかげだと思っています。感謝申し上げます。

宗像市は、海・川・山といった豊かな自然と田畑に恵まれ、原始・古代から近・現代まで、たゆまぬ歴史を刻み、歴史的な文化遺産は、市内各所に数多く大切に保存されています。当館では、それらの貴重な文化遺産を次世代に守り伝えるべく、基礎的な調査・研究を行い、その成果を展示や講座などを通じて、市民の皆さまに関心を持っていただき、かつ、楽しんでいただけるように心がけて参りました。そして、未来を担う子どもたちに、郷土の歴史や文化を楽しみながら学んでもらおうと、勾玉づくりをはじめとした種々の古代体験や、ものづくりをテーマとしたロボット工作や工芸体験などを提供して参りました。また、世界文化遺産「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」のガイダンス施設として、沖ノ島の臨場感あふれる映像や各種展示を提供しています。その他にも、年間を通じて四季折々の事業を実施し、市内外の皆さまの交流の場として活用いただいています。

これまでの当館の運営を振り返りますと、市内外の多くの人々に親しまれ、愛されてきたことを実感しますとともに、当館の展示解説ボランティアであります地域学芸員の皆さまの献身的で精力的な活動に頭が下がる思いです。この場を借りて感謝申し上げます。

最後に、現在世界的な問題となっている新型コロナウイルス感染症の拡大によって、当館も一時臨時閉館を余儀なくされるなどさまざまな影響を受けています。しかしながら、私たち館員一同は、未来を見据え、出来得ることを模索しながら、皆さまに愛される博物館を引き続き目指して取り組んで参ります。今後も皆さまのご理解とご協力、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和2年9月1日

海の道むなかた館

館長 西谷 正

1 海の道むなかた館の概要

1. 建設から現在に至る経緯

宗像市郷土文化学習交流館「海の道むなかた館」は、玄海文化センター「アクシス玄海」という多目的な文化施設を改修することで生まれ変わった施設である。

アクシス玄海は、平成4年に観光物産館・文化施設として開館。宗像大社辺津宮に隣接し、多くの集客があった。平成10年には、観光物産館を改装し、地産地消をモットーに地元の魚介類や農産物の直売所として集客を誇った。その後、平成20年に道の駅むなかたのオープンによって物産館の機能が移転され、アクシス玄海の機能は、文化ホール、図書館、会議室、文化財の整理室として継続されることとなった。また、管理主体は、開館以来、旧玄海町及び宗像市の直営であったが、平成18年4月から平成23年3月までは地元の田島地区コミュニティ運営協議会（当時）が管理運営に携わっていた。

平成22年7月、宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画を策定し、その2年後の平成24年4月28日、海の道むなかた館が開館する運びとなった。

平成29年7月、ポーランドで開かれた世界遺産委員会において、『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産に登録決定した際には、当館でパブリックビューイング（7月9日、インターネットによる実況中継）を実施。約400人が参加し、歓喜に沸いた。

平成31年2月、平成24年4月の開館以来、入館者数が100万人を突破した。

同年4月、市の機構改革により館の運営及び事業の推進を担う部署が、それまでの郷土文化課から世界遺産課及び文化財課の2課体制となる。

2. 沿革

平成4年（1992）	5月	玄海文化センター「アクシス玄海」開館
平成21年（2009）	9月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画ワーキング会議の設置 宗像市郷土文化学習交流施設基本計画連携推進委員会の設置
	10月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画策定業務委託の着手
平成22年（2010）	5月	パブリックコメントの実施
	7月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画の策定
	9月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の着手
平成23年（2011）	3月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の完了
	6月	第1期地域学芸員養成講座（初級）の開講
	7月	宗像市郷土文化学習交流施設愛称募集（市民公募）
	8月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の着工
	12月	宗像市郷土文化学習交流館条例の制定 「海の道むなかた館」に愛称決定
平成24年（2012）	3月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の竣工 「海の道むなかた館」商標原簿に登録
	4月	海の道むなかた館の内覧会（4月21日） 海の道むなかた館の開館（4月28日）
	9月	第1期地域学芸員養成講座（中級）の開講

平成25年(2013)	5月	海の道むなかた館西館改修外工事の着手
	6月	海の道むなかた館西館改修外工事の竣工
	7月	海の道むなかた館周辺整備工事の着工
	10月	第2期地域学芸員養成講座(初級)の開講
平成26年(2014)	3月	海の道むなかた館周辺整備工事の竣工
	11月	第2期地域学芸員養成講座(中級)の開講
平成28年(2016)	9月	国際記念物遺跡会議(イコモス)の視察調査
平成29年(2017)	7月	第41回世界遺産委員会のパブリックビューイングを実施 ※『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産に登録決定
平成30年(2018)	1月	沖ノ島VR映像(NTTドコモ提供)を導入
	3月	展示室に大型スクリーンを設置
	10月	第3期地域学芸員養成講座の開講
平成31年(2019)	2月	来館者数100万人を達成 景観マッピングビジョン、世界遺産解説コーナーを設置
	4月	市の機構改革により館運営と事業推進を担う部署が世界遺産課及び文化財課の2課体制となる。
令和2年(2020)	3月	新型コロナウイルス感染症拡大を受け、臨時休館(3月28日から5月31日まで)

3. 開館時間

- 開館時間

9時～18時

- 休館日 ※臨時で休館又は開館する場合あり

- ・ 月曜日(月曜日が祝日・振替休日にあたる時は、その翌平日)

- ・ 12月29日から翌年1月3日まで

- 入館料

無料(特別展示等において有料の場合あり)

4. 館の施設概要

郷土文化学習交流館（海の道むなかた館）		
施設名	面積	摘要
【1階本館】		
風除室	33 m ²	ホールへの外気進入防止のための空間
世界遺産課事務室	70 m ²	総合案内、保存係及び活用係事務室
ホール	397 m ²	ショップ「宗像蒼の社」。世界遺産ガイドランス展示
ロッカー室	10 m ²	来館者用ロッカー
常設展示室	386 m ²	宗像の歴史展示、世界遺産関係展示等に使用
重要文化財展示室	53 m ²	田熊石畑遺跡出土青銅器等の重要文化財の展示や企画展に使用
荷解室	25 m ²	収藏品や借用展示品の梱包や荷解きに使用
前室	14 m ²	収藏品や借用展示品を展示室の環境に慣らすために使用
重要文化財収蔵庫	25 m ²	重要文化財等の収蔵に使用
3Dシアター	33 m ²	沖ノ島紹介3D映像の上映及びVR利用に使用
ボンベ室	8 m ²	重要文化財展示室及び収蔵庫の消火設備
体験学習室	244 m ²	宗像地域の自然、歴史、文化に関する体験学習等の実施に使用
土器復元室	42 m ²	埋蔵文化財復元作業等に使用
倉庫	25 m ²	体験学習に用いる道具・材料等の収納に使用
トイレ	77 m ²	男女トイレ、多目的トイレ
【1階西館】		
宗像市民図書館深田分館	423 m ²	郷土の歴史、自然、文化等関係書籍を中心とした市民図書館
第2展示室	110 m ²	各種展示等に使用
講義室	134 m ²	各種講座等の開催に使用
館長室	33 m ²	館長室
新修宗像市史編さん事務局事務室	50 m ²	新修宗像市史編さん事務局事務室
清掃員控室	15 m ²	清掃員の控室及び休憩室
埋蔵文化財整理室	100 m ²	文化財整理作業に使用
文化財課事務室	59 m ²	文化財係事務室
授乳室	3 m ²	授乳室
トイレ	40 m ²	男女トイレ
【2階】		
図書整理室	96 m ²	図書整理室
図書準備室	69 m ²	図書準備室
ボランティア控室	28 m ²	地域学芸員及び宗像歴史観光ボランティアの会事務局の活動に使用
埋蔵文化財関係書庫	69 m ²	酒井文庫、文化財報告書等を収蔵
郷土資料関係書庫	31 m ²	市史編さん関係資料等を収蔵
【地階】		
収蔵庫	367 m ²	文化財調査出土品等を収蔵
収蔵庫	41 m ²	文化財調査出土品等を収蔵
機械室	25 m ²	ホール用空調設備機器を設置
倉庫	10 m ²	文化財関係書類等の保管に使用
収蔵庫	17 m ²	文化財調査出土品等を収蔵

5. 宗像市郷土文化学習交流館建物概要

所在地	福岡県宗像市深田588番地
階数構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨構造 地上3階 地下1階
敷地面積	11,082.02 m ²
用途地域	準都市計画区域内 (平成24年4月1日現在)
既存建物床面積	3,973.26 m ²
既存建物建築面積	2,934.38 m ²
既存建物竣工	平成4年3月31日
現建物床面積	3,901.42 m ²
現建築面積	2,978.85 m ²

2 管理運営体制

1. 組織

(1) 令和元年度 館の機構

館長 西谷 正

市民協働環境部 世界遺産課 保存係
 活用係
 文化財課 文化財係
 市史編さん室

(2) 地域学芸員

海の道むなかた館では、平成 23 年～平成 30 年度に実施した第 1 期、第 2 期及び第 3 期地域学芸員養成講座の修了者が市民ボランティア「地域学芸員」として、館の展示解説や体験学習指導、地域遺産調査などを担っている。

令和元年度は 93 人の地域学芸員が活動。市では、地域学芸員の館内での 1 回の活動に対して 1,000 円の特別旅費を支払っている。

○令和元年度活動状況

(単位：人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延べ人数	187	247	254	188	177	172	255	174	204	209	161	4	2,232

※2月29日から3月31日までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示解説及び体験学習指導を中止

○令和元年度地域学芸員研修実施状況

日時	内容	参加者数
8月22日(木)	世界遺産研修	54
10月24日(木)	視察研修	43
12月10日(火)	館長講座	35
1月9日(木)、21日(火)、23日(木)、 28日(火)、30日(木)、2月6日(木)	地元学研修	27
3月17日(火)	景観研修	—

※景観研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

2. 郷土文化学習交流館協議会

宗像市郷土文化学習交流館条例に基づき、教育関係者、学識経験者、市民代表等で構成された委員が、館の運営に関し審議する機関である。

(1) 委員

任期：令和元年9月1日～令和3年8月31日

	区分	氏名	役職等
1	学校教育及び社会教育の 関係者	松井 安彦	福岡県立少年自然の家「玄海の家」所長
2		高橋 茂	玄海東小学校教頭
3		井上 伸和	城山中学校教頭
4	家庭教育の向上に資する 活動を行う者	升谷 智子	海の道むなかた館地域学芸員
5	学識経験者	亀井 輝一郎	福岡教育大学名誉教授
6		長友 貞治	宗像大社権禰宜
7	市民代表	田島 信之	玄海地区コミュニティ運営協議会会長
8		坂本 和典	市民公募

(2) 会議

日程：令和2年3月26日（木）

会場：海の道むなかた館 講義室

議題：(1) 会長及び副会長の選出について

(2) 報告事項

- ①組織について
- ②来館者等について
- ③講座・イベントについて
- ④地域学芸員について
- ⑤特別展等について
- ⑥「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群について
- ⑦文化財保存活用地域計画について

(3) その他

3. 令和元年度決算

(単位：円)

海の道むなかた館予算	展示活用事業費	管理運営費
報酬	1,800,000	3,625,400
共済費	276,828	17,000
賃金	—	1,667,250
報償費	412,650	—
旅費	2,310,031	14,000
需用費	1,900,775	10,479,642
役務費	357,631	539,895
委託料	2,909,310	14,409,268
使用料及び賃借料	29,440	676,042
工事請負費	—	468,600
備品購入費	—	32,400
負担金・補助及び交付金	10,000	—
公課費	—	6,600
決算額	10,006,665	31,936,097

3. 展示

1. 常設展示室

「海の道」をテーマに宗像地域からの出土品や資料を展示、紹介している。特に、世界文化遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群のガイダンス施設として、沖ノ島の祭祀遺跡や構成資産を紹介する7×18mの大型スクリーンに映し出される映像は大迫力で充実している。



○展示物

【ヒトの来た道】

時代：旧石器時代～縄文時代

展示物：(旧石器時代) 石器の材料となる各地の黒曜石やサヌカイト、池浦トボシ遺跡出土ナイフ形石器、田野瀬戸遺跡出土旧石器等

(縄文時代) さつき松原遺跡出土曾畑式土器、鐘崎(上八)貝塚出土鐘崎式土器、縄文土器復元レプリカ、縄文人形等



【稲作が渡った道】

時代：弥生時代

展示物：東郷登り立遺跡出土弥生土器・紡錘車、須恵クヒノ浦遺跡出土炭化米、光岡長尾遺跡出土石包丁をはじめ市内遺跡出土の磨製石斧、久原遺跡銅剣・銅矛レプリカ、弥生人形等



【最先端技術が渡った道】

時代：古墳時代

展示物：富地原川原田遺跡出土土器(甕、手づくね土器、台付鉢等)、大島大岸遺跡出土移動式竈、大井三倉遺跡出土須恵器甕、大井三倉遺跡出土須恵器高坏等



【半島・大陸との交流の道】

時代：古墳時代

展示物：朝町山ノ口遺跡出土鉄鉗、野坂一町間遺跡出土鉄滓、久原遺跡Ⅱ区3号墳出土埴輪、久原瀧ヶ下遺跡出土コップ形土器、東郷高塚古墳出土勾玉・管玉、牟田尻中浦古墳群飾履レプリカ、古墳人形等



【拡大する海外交流の道】

時代：古代～中世

展示物：武丸大上げ遺跡出土鬼瓦、久原遺跡出土陶磁器等



【街道と海女の道】

時 代：江戸時代～現代

展示物：赤間宿跡出土遺物（屋号銘入り徳利、染付碗等）、海女道具一式（県指定文化財）等



2. 特別展示室

国宝・重要文化財を含め、各地域の貴重な文化財を鑑賞することができる展示室で、年に数回さまざまなテーマによる特別展示を開催する。

【沖ノ島祭祀前夜】

時 代：弥生時代

展示物：田熊石畑遺跡出土武器形青銅器・装身具・復元レプリカ、田久松ヶ浦 遺跡出土土器・磨製石剣・磨製石鏃、光岡長尾遺跡出土土笛、土笛を吹く少女人形



【特別展示室】

3. 特別展

「Hi!! 地～図! あなたの知らない地図の世界」

会 期：令和元年11月2日（土）～12月22日（日）

入館料：無料

主 催：宗像市教育委員会

共 催：宗像市

協 力：株式会社武揚堂、国土地理院、宗教法人宗像大社、第七管区海上保安本部海洋情報部、広島県立歴史博物館、福岡県立図書館、福岡市博物館、福岡市埋蔵文化財センター、防衛省防衛研究所



○記念講演／令和元年11月16日（土）

地図から見た宗像の地理とその活用／福岡教育大学教授 黒木貴一

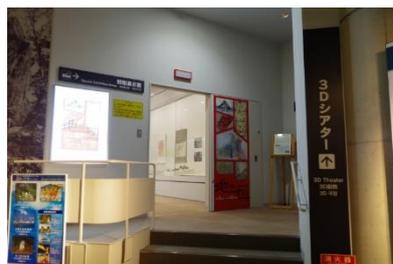
○宗像大社境内ウォーキング／令和元年11月23日（土・祝）／

宗像大社神宝館学芸員 河窪奈津子

○小学生作成地図展覧会／令和元年11月2日（土）～12月19日（木）



記念講演



特別展会場

4. 企画展

(1) 山村善太郎特別写真展「磐座～悠久の日本のこころ」

内容：「神宿る岩」と長年崇められ、信仰されていた岩や磐座の写真を展示

会期：令和元年11月12日（火）～2年1月26日（日）

(2) 日伊文化交流作品展

内容：イタリア レッジョ・エミリア市と宗像市立学校の交流を通じた絵画を展示

会期：令和元年12月21日（土）～2年1月9日（木）

(3) 宗像地区児童絵画展

内容：「福岡県入選作品」のうち、宗像・福津市の小学生の作品を展示

会期：令和2年1月11日（土）～1月21日（火）

5. 第2展示室

(1) 『新修宗像市史うみ・やま・かわー地理・自然ー』刊行記念写真パネル展

内容：『新修宗像市史 うみ・やま・かわー地理・自然ー』刊行を記念して、関連する写真パネルを展示

会期：令和元年5月18日（土）～6月30日（日）

(2) 「わたしたちの水」絵画コンクール作品展示

内容：“たいせつな水”をテーマに実施した絵画コンクールで、宗像市及び福津市の小学4～6年生の入選作品を展示

会期：令和元年10月31日（木）～11月24日（日）

6. 3Dシアター

通常は上陸することができない沖ノ島の島内の様子を3D映像でリアルに見ることができる。その他に、宗像大社の神事の映像や歴史アニメも上映している。

(1) 3D映像

① 『「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群』（上映時間：11分）

500年にも及ぶ国家的祭祀、祭祀を担った宗像氏、神に捧げられた8万点もの宝物、宗像三女神の誕生、今も息づく宗像大社の信仰など、世界的な資産価値を有する「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の価値をわかりやすく解説する。



② 「宗像大社の神事一人々の信仰と祈りー」（上映時間：13分）

沖津宮の田心姫神と中津宮の湍津姫神の神輿を載せた2隻の御座船と宗像七浦の船団により繰り広げられる「みあれ祭」をはじめ、古代の信仰を今に引き継ぐ宗像大社のさまざまな神事を紹介する。



③「沖ノ島の自然—太古の姿をそのままに—」(上映時間：8分)

沖ノ島全島は、1926年(大正15年)に国の天然記念物に指定されており、現在も禁忌によって人の往来が制限されているこの島では、絶滅が危惧されている植物が繁殖し、市の鳥でもあるオオミズナギドリの一だ繁殖地となっていることなどを紹介する。



④アニメ「海の民 ムナカタ」

マンガ「海の民宗像」(梓書院)を原作とし、古代において日本と大陸との活発な対外交流の舞台であった宗像の歴史や宗像の海に生きた人々について紹介する。(フィクション)



第1話—「玄界灘の守り神」(上映時間：9分)

第2話—「海人の都ムナカタ」(上映時間：7分)

第3話—「ムナカタとヤマトをつないだ海人」(上映時間：13分)

第4話—「玄界灘の軍神」(上映時間：10分)

第5話—「海の民ムナカタ」(上映時間：11分)

⑤アニメ「海の民 ムナカタ」総集編(上映時間：18分)

総集編では、弥生時代から奈良時代にかけて大陸からの影響を受けながら大きく変化していく時代に生きた宗像の人々の心情や動向を描いている。

令和元年度3Dシアター視聴者数一覧表

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
視聴者数	1,733	2,582	2,659	1,661	1,920	2,081	2,552	3,291	1,653	2,164	2,284	

※2月29日から3月31日までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上映を中止 合計：24,580人

(2) VR

沖ノ島の全貌を8Kで撮影。専用のゴーグルをつけて仮想現実体験をすることができる。

※株式会社NTTドコモから無償貸与を受け、平成30年1月から視聴開始

令和元年度VR視聴者数一覧表

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
視聴者数	41	26	43	24	313	432	756	318	283	578	327	

※2月29日から3月31日までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、使用を中止 合計：3,141人

4 体験学習

1. 古代体験学習

原則、毎週土・日曜日、祝日、イベント等で実施

○勾玉づくり

内容：爪でも削れるやわらかい石（滑石）を使用し、粗さの違う3枚の紙やすりで削って作る。
イベント等では、ピンクや黒の石も用意し、選べる大きな勾玉づくりを開催した。

料金：200円

○古銭鑄造体験

内容：宗像市三郎丸今井城遺跡から出土した、和同開珎、万年通宝、神功開宝をモデルに製作した型と低温で融解する金属を使用し、古銭を作る。

料金：200円

○火おこし

内容：マイキリという火おこしの道具を使用して、火おこしを行う。

料金：100円

○土笛づくり

内容：光岡長尾遺跡から出土した土笛をモデルに、オープン粘土を使用して、土笛を作る。

料金：200円

○古代アートでエコづくり

内容：古代の文様や装飾古墳について学び、文様スタンプを押して、布製エコバッグを作る。

料金：200円

令和元年度 古代体験学習参加人数 月別集計表（定例及び団体の体験）（単位：人）

	勾玉づくり		古銭鑄造		火おこし		土笛づくり		エコバッグづくり	
	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料
4月	96	—	—	—	—	—	7	—	—	—
5月	84	139	—	—	2	—	29	—	5	—
6月	296	462	4	—	—	—	11	—	10	—
7月	372	80	2	—	—	—	11	—	—	—
8月	498	—	—	—	—	—	109	—	6	—
9月	38	—	27	—	—	—	5	—	6	—
10月	70	24	7	—	—	—	11	—	8	—
11月	183	—	—	—	—	—	20	—	11	—
12月	8	—	17	—	—	—	16	—	2	—
1月	55	—	3	—	2	—	—	—	7	—
2月	10	—	17	—	11	—	4	—	2	—
3月	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	1,715	705	77	—	15	—	223	—	57	—
合計	2,420		77		15		223		57	

※勾玉づくりには選べる勾玉づくりも含む。

※表中「無料」は、市内小・中学校の社会科見学での体験

※2月29日から3月31日までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

2. 特別体験学習

体験名		日程	参加人数	内容	料金
1	子ども考古学教室～目指せ未来の考古学者！～（全3回）	7月27日（土） 8月3日（土） 8月10日（土）	3人	本物の土器などを題材に、歴史の話を聴いて、特別収蔵庫等、海の道むなかた館を見学。本物の出土品から歴史を学ぶ。	無料
2	トヨタ自動車九州 モノづくり教室～からくり自動車～	7月28日（日）	40人	単純な回転運動が複雑なクルマの動きに影響を与えることを学ぶ。トヨタ自動車九州との連携事業	無料
3	芦屋釜の里とのコラボ企画 昔の鏡を作ろう！	7月28日（日）	21人	鏡はどのように使われていたか学んだ後、スズを流し込んで手鏡を作る。芦屋釜の里との連携事業	200円
4	沖ノ島出土の古代ガラスを学んで、アクセサリーを作ろう！	8月4日（日）	16人	ガラスにまつわる歴史を学んだ後、ガラス玉を作り、アクセサリーに仕上げた。粋工房との連携事業	500円
5	ペーパークラフト干支絵馬づくり	1月4日（土） 1月5日（日）	72人	ねずみの立体絵馬を作る。	無料
6	錫の古印づくり	1月11日（土）	37人	自分で文字を彫り、スズを流し込んで印鑑を作る。芦屋釜の里との連携事業	500円
7	ステンドグラス風の写真立てづくり	1月12日（日）	16人	ガラスにフィルムを貼り付け、写真立てを作る。粋工房との連携事業	500円
8	むなかたものづくり展	3月21日（土） 3月22日（日）		▽筆とパステル画体験▽組子の麻の葉コースター作り体験▽イギリス風ステンドグラス体験▽木のオリジナルプレートを作ろう▽ロボットプログラミングを体験しよう！▽紙飛行機を作って、青空へ飛ばそう！▽とんぼ玉でアクセサリー作り▽ミニジオラマやミニチュアフードを作ろう▽電動車いす型ロボット「ロデム」試乗体験▽錫（オズ）でオリジナル印鑑をつくろう！▽LED電飾講座▽二足歩行型ロボットをつくろう！▽選べる大きな勾玉づくり	無料 ～ 1,700円

※むなかたものづくり展は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

5 講座

1. 館長講座

概要：西谷正館長による講座を毎月1回開催した。令和元年度は、「アーカイブス 古代史の謎」をテーマに、映像を使用しながらわかりやすく古代史について解説した。また、「北朝鮮の遺跡を訪ねて－2019」と題し、特別講座を開催した。

回数：12回（特別講座1回含む。）

場所：海の道むなかた館・講義室

受講者数：計859人

回数	開催日	内容
第1回	4月14日（日）	弥生時代がさかのぼる－ハイテク年代測定の波紋－
第2回	5月5日（日・祝）	日本文化の原点をさぐる－東夷伝のみち・韓国古代史紀行－
第3回	6月9日（日）	弥生時代の西と東－伊都国の遺跡と大塚・歳勝土遺跡－
第4回	7月14日（日）	楽浪遺物のある風景
第5回	8月11日（日・祝）	ふくおか学入門－海人族と奴国王・金印の謎－
第6回	9月8日（日）	(1) 邪馬台国への道－見えてきた倭人伝の世界－ (2) 古代の“謎” 邪馬台国への道
第7回	10月13日（日）	(1) 玄界灘・海と人の物語 (2) 今、時空を超えて甦る弥生の王都－壱岐・原の辻遺跡－
第8回	11月10日（日）	ガラスの来た道
特別講座	12月1日（日）	北朝鮮の遺跡を訪ねて－2019
第9回	12月8日（日）	(1) 追跡・巨大古墳の謎－唐津市・久里双水古墳－ (2) 不思議なオブジェ！ 前方後円墳
第10回	1月12日（日）	楽浪・帯方郡の遺跡と高句麗壁画古墳
第11回	2月9日（日）	装飾古墳 永遠の彩り－古代九州 壁画が語る祖先の思い－
第12回	3月8日（日）	鴻臚館－姿見せた古代の外交拠点－

※第12回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

2. 新春館長講座

概要：新春イベントにおいて西谷正館長による歴史講座を行った。

日程・内容

開催日	内容
1月4日（土）	「宗像大社をめぐって～起源と鎮国寺～」
1月5日（日）	「宮地嶽古墳と倭国～天武天皇と新羅～」

受講者数：計129人

3. 出前講座（ふるさとふるふる講座・ルックルック講座他）

内容：宗像地域の歴史や世界遺産などを、映像やパネル等の資料や体験などを交えながら学ぶ。

受講団体数：36件

受講者数：3,057人

団体	学年	開催日	受講者数
日の里東小学校	6年	5月30日（木）	52
	3年	2月7日（金）	51
南郷小学校	6年	6月11日（火）	34
	5年	10月28日（月）	36
玄海東小学校	4年	6月19日（水）	21
	4年	10月15日（火）	21
	4年	10月18日（金）	21
	6年	11月1日（金）	15
	3年	2月12日（水）	20
河東小学校	5年	7月2日（火）	137
	5年	2月10日（月）	132
玄海小学校	4年	6月19日（水）	10
	6年	10月2日（水）	9
	6年	11月1日（金）	9
	3年	1月22日（水）	17
赤間小学校（4・3年生）	6年	6月21日（金）	162
	4年	10月8日（火）	45
	3年	1月28日（火）	154
自由ヶ丘南小学校（4年生）	4年	10月16日（水）	60
	3年	10月30日（水）	57
玄海東小学校（6・3年生）	4年	6月19日（水）	21
	4年	10月15日（火）	21
	4年	10月18日（金）	21
	6年	11月1日（金）	15
	3年	2月12日（水）	20
日の里西小学校	3年	2月5日（水）	56
福岡県立宗像中学校	1年	6月15日（土）	80
中央中学校	1年	6月21日（金）	159
日の里中学校	2年	9月25日（水）	99
	1年	10月4日（金）	104
玄海中学校	1年	9月27日（金）	25
河東中学校	2・3年	10月3日（木）	375
大分県日田市立大山小学校	6年	9月29日（日）	30
赤間小PTA赤間っ子フェスタ		11月16日（土）	50
日の里東小学校学童保育所		7月25日（木）	63
自由ヶ丘小学校第1・2学童保育所		7月30日（火）	89
玄海東小学校学童保育所		7月31日（水）	25
河東小学校第1・2学童保育所		8月1日（木）	136
玄海小学校学童保育所		8月7日（水）	25

南郷小学校学童保育所	8月8日(木)	39
河東西小学校第2学童保育所	8月9日(金)	29
日の里西小学校第1・2学童保育所	8月20日(火)	39
	8月21日(水)	39
東郷小学校学童保育所	8月22日(木)	109
宗像古道プロジェクト(第1・2・3回)	11月9日(土)	20
	11月16日(土)	20
	11月23日(土・祝)	20
宗像歴史観光ボランティアの会	5月10日(金)	40
	5月18日(土)	40
	6月1日(土)	40
宮若市生涯学習センター	10月10日(木)	50
福岡県立少年自然の家「玄海の家」	11月23日(土・祝)	50
福岡県立九州歴史資料館	11月30日(土)	20
むなかた歴史を学ぼう会	1月16日(木)	25

6 各種イベント

1. ゴールデンウィーク特別体験学習

日程：令和元年5月1日（水・祝）～5月6日（月・振休）

内容：特別体験学習として選べる勾玉づくりを行った。

2. むなかた歴史クラブ

日程・内容：

開催日	タイトル	内容
7月14日（日）	宗像大社を知ろう！	世界遺産の宗像大社辺津宮について、神職、巫女から話を聞きながら境内を見学した。
9月15日（日）	大島の歴史を学ぼう！	大島に行き、地元の方の話を聞きながら、世界遺産の沖津宮遙拝所等を見学した。
10月6日（日）	遺跡発掘を体験しよう！	遺跡の発掘について学び、実際に浜宮貝塚の発掘を体験した。
11月4日（月・振休）	古代食を作ってみよう！	古代人の食生活を学び、実際に古代食を作り試食した。
1月26日（日） 2月2日（日）	博物館の展示を学ぼう！	博物館の展示方法について学び、実際に展示を体験した。

3. 夏の課外授業（夏休み特別体験学習）

日程：令和元年7月23日（火）～8月20日（火）＊夏休み期間中

内容：トヨタ自動車九州によるモノづくり教室、粹工房によるガラスのアクセサリ作り、芦屋釜の里による鏡づくりなど、他団体との連携事業も加えながら夏休み期間中に特別体験学習を行った。

4. 宗像大社のみあれ祭陸上神幸

日程：令和元年10月1日（火）

内容：宗像大社の海上神幸（みあれ祭）の後、地域のコミュニティや小・中学生、宗像大社氏子青年会などの奉仕者が、奉行や巫女（みこ）、稚児の衣装を身にまとい、玄海地区コミュニティ・センターから辺津宮一の鳥居まで、宗像三女神のご神体を乗せた神輿（みこし）を担いだ。

5. 新春イベント

日程：令和2年1月4日（土）～1月19日（日）

内容：西谷正館長による新春館長講座やペーパークラフト絵馬体験、錫（すず）の古印づくりなどを実施。また、ミュージアムコンサートやミュージカル、特別展「海と祈り展」、デジタルスタンプラリーなどを開催した。

6. むなかたものづくり展 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

日程：令和2年3月21日（土）、22日（日）

内容：昨年に引き続き、むなかた模型作品展示会に宗像の工芸や食品などのものづくりの要素を加えたイベントとして企画。協力団体・企業による体験教室やワークショップなどを実施予定だった。また、正面玄関横芝生広場では、「宗像おいしいもの市」を開催し、宗像の食材を使用した軽食や商品の出店を行う予定だった。

7. ミュージアムコンサート

11月から2か月に1回（奇数月）、館への集客と文化振興のため、宗像にゆかりのあるアーティストや団体等を招き、コンサートを開催した。3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(1) Vol.41 ～晩秋のクラシック～ 原田哲男チェロコンサート

日時：令和元年11月29日（金）18：30～19：30

出演者：【チェロ】原田 哲男

演 目：バッハ無伴奏チェロ組曲第六番、マックス・レーガー無伴奏チェロ組曲第二番 他

参加者数：130人

(2) Vol.42 新春企画 ～心揺さぶる和の響き～ 津軽三味線演奏会

日時：令和2年1月13日（月・祝） 14：30～15：30

出演者：福岡大学附属若葉高等学校「津軽三味線部」

参加者数：190人

~~(3) Vol.43 ～弾む！春Jazz～ハルジャズ~~

~~日時：令和2年3月13日（金） 18：30～19：30~~

~~出演者：志波 未有~~

~~曲 目：Memories of you、虹の彼方に 他~~

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止

7 他のイベントとの連携

市内にある施設での事業連携を積極的に行い、館のPRや郷土文化の紹介を行った。

1. 福岡県立宗像中学校・高等学校文化祭

日程：令和元年6月1日（土）

場所：宗像中学校・高等学校

参加人数：50人（勾玉づくり）

2. 玄海わくわくチャレンジデー

日程：令和元年11月23日（土・祝）

場所：福岡県立玄海少年自然の家「玄海の家」

参加人数：60人（勾玉づくり）

8 世界遺産

1. 各構成資産への来訪者数

(1) 令和元年度月別来訪者数

(単位：人)

	辺津宮	神宝館	中津宮	沖津宮遙拝所	新原・奴山 古墳群
4月	54,735	4,019	2,955	2,661	993
5月	70,046	5,526	4,691	3,929	3,095
6月	48,080	4,312	2,320	2,156	1,835
7月	39,507	2,935	3,176	1,837	1,176
8月	42,546	3,841	2,986	2,337	1,246
9月	44,592	3,855	2,255	2,819	1,665
10月	75,255	4,941	3,197	2,713	1,818
11月	75,849	4,920	2,468	2,609	1,557
12月	44,097	2,345	1,669	2,720	746
1月	280,709	2,897	1,439	1,247	1,090
2月	57,025	2,612	1,471	2,785	1,510
3月	39,250	1,590	1,790	1,727	1,362
計	871,691	43,793	30,417	29,540	18,093

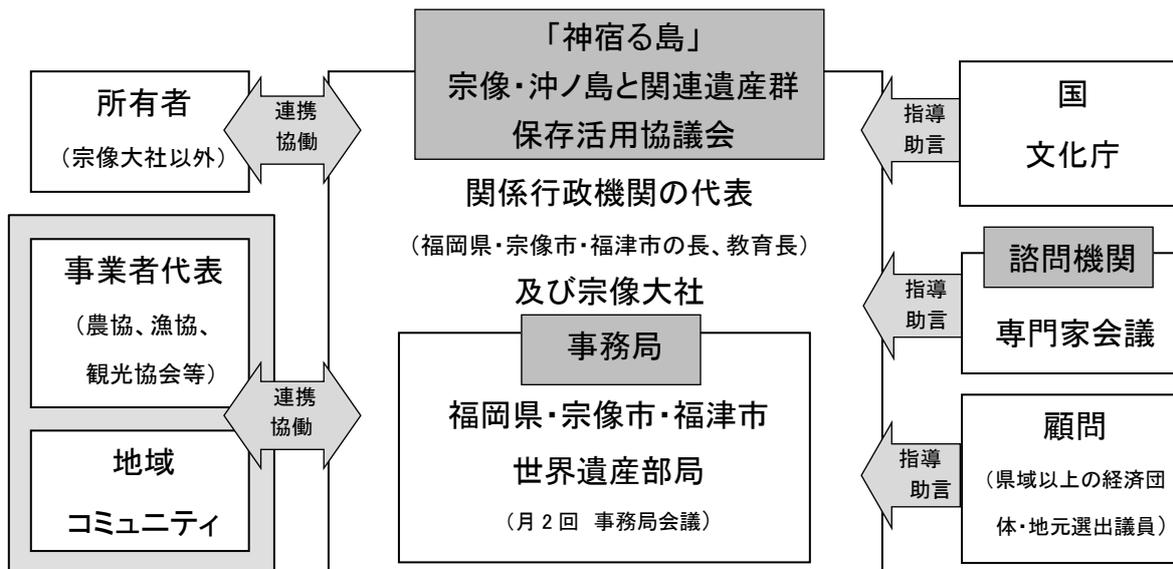
(2) 年度別来訪者数

(単位：人)

	辺津宮	神宝館	中津宮	沖津宮遙拝所	新原・奴山 古墳群
H29	411,275	57,623	25,018	29,892	13,592
H30	857,027	78,016	33,593	32,798	18,748
R元	871,691	43,793	30,417	29,540	18,093

※平成29年7月から集計開始

2. 保存活用の体制



3. 保存と活用の取り組み

(1) 保存管理

①学術調査研究事業

- ◆「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群特別研究事業【協議会】

国際検討委員会の内容

第1回	平成30年度	古代東アジアの航海と宗像・沖ノ島
第2回	令和元年度	古代東アジアにおける地域間交流の信仰・祭祀
第3回	令和2年度(予定)	古代東アジアの海洋信仰

- ◆沖ノ島出土品、所蔵文書の調査【協議会】

②各種計画の策定

- ◆包括的保存管理計画【協議会】
- ◆国指定史跡「宗像神社境内」整備基本計画【宗像市】(令和2年3月策定)
- ◆国指定史跡「宗像神社境内」保存活用計画【宗像市】
- ◆世界遺産のあるまちづくり計画(仮称)【宗像市】

③構成資産モニタリング【宗像市】

- ◆清掃・見回り…世界遺産市民の会、企業や学校、ボランティアによる清掃や見回り活動を実施
- ◆モニタリング…沖ノ島海域及び史跡の定期調査を9回実施。
構成資産及び緩衝地帯の調査を実施し、年次報告書を作成して文化庁に報告
- ◆遺産影響評価…構成資産周辺に係る開発事業について、遺産への影響の有無を調査。影響のおそれがある案件については関係者と協議、指導

(2) 公開活用

①来訪者対策

- ◆コンテンツ、媒体の制作…世界遺産の資料や情報を収集・発信する「宗像アーカイブス」の構築。PR番組や多言語対応映像の制作【協議会】
- ◆多言語解説ウェブサイト制作【協議会】
- ◆ボランティアガイド向けマニュアルの制作【協議会】
- ◆小中学生向けワークブック「世界遺産楽習帳」の制作【協議会】
- ◆銘板・解説板の設置…辺津宮、中津宮、沖津宮遙拝所【宗像市】

②啓発・PRイベント【協議会】

- ◆海の日世界遺産めぐり…海の日(7月15日)を本遺産の記念日として、啓発イベントを開催。沖ノ島遠望船、大島周遊クルーズ、公開講座及び構成資産ガイドツアー等
- ◆世界遺産公開講座…毎月1回、計9回開催。1回につき2講座を実施。
- ◆海の道むなかた館来館キャンペーン…道の駅や宗像大社辺津宮で、むなかた館への誘導促進。

③その他

- ◆宗像大社辺津宮周辺の無電柱化(令和3年3月完了予定)【宗像市】

9 むなかた電子博物館

1. 月間ページビュー

(単位：件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29	5,117	9,643	8,922	10,167	6,335	8,042	7,244	6,579	4,834	7,800	7,107	7,380	89,170
H30	7,927	7,896	9,180	3,758	6,345	4,395	5,315	4,775	3,365	4,282	3,674	3,413	64,325
R元	4,596	5,873	5,320	5,313	5,241	5,605	6,018	8,099	8,395	9,689	7,195	9,482	80,826

2. イベントの開催

(1) 北斗の水くみ写真展

「北斗の水くみ」、「北斗七星」の姿を写した画像データを広く募集し、受賞作品をむなかた電子博物館に掲載した。

募集期間：令和元年8月1日（木）～10月31日（木）

応募作品：14点

(2) プラネタリウムと北斗の水くみ海浜公園で星空ウォッチング

宗像ユリックス・プラネタリウムで北斗の水くみについて解説し、北斗の水くみ海浜公園で天体望遠鏡を使って観望会を行った。

日程：令和元年11月9日（土）

場所：宗像ユリックス・プラネタリウム、北斗の水くみ海浜公園

参加人数：6人

(3) むなかたデジタルスタンプラリー

海の道むなかた館新春イベントの一環として、スマートフォン、タブレット端末を使い、宗像大社辺津宮周辺を巡るスタンプラリーを行った。

日程：令和2年1月4日（土）、5日（日）、11日（土）、12日（日）、13日（月・祝）

場所：海の道むなかた館

参加人数：425人

10 文化財保護事業

1. 開発事前審査

令和元年度、本市では埋蔵文化財の有無にかかる事前審査を1,050件受け付けた(表1)。前年度比約92%である。そのうち26件について試掘・確認調査を行った。これに基づき文化財保護法第93条第1項では36件の進達を行った。記録保存等での発掘調査に伴い、文化財保護法第99条第1項を適用したのは5件である。

(表1) 過去5年度の開発事前審査件数 (単位:件)

内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事前審査	919	945	1,037	1,143	1,050
試掘・確認調査	28	13	17	36	26
93条1項(土木工事等のための発掘に関する届出)	28	27	21	28	36
94条1項(国の機関等が行う発掘に関する通知)	0	1	0	1	0
99条1項(地方公共団体による発掘の施行)	1	3	3	1	5

2. 文化財の指定・現状変更

令和元年度は、県指定有形文化財1件が新たに指定された(表2)。現状変更は12件を受け付け、うち3件は文化庁が、1件は福岡県教育委員会が、8件は市教育委員会が許可した(表3)。

(表2) 令和元年度新指定・追加指定文化財

区分	指定名称	指定月日	内容
県指定有形文化財(歴史)	依岳神社の棟札	令和2年3月27日	中世から近世の棟札

(表3) 令和元年度指定文化財現状変更一覧

指定名称	変更内容	許可権者
国史跡 宗像神社境内(沖ノ島)	生息調査	宗像市
国天然記念物 沖の島原始林(沖ノ島)	生息調査	宗像市
国天然記念物 カンムリウミスズメ	環境調査	宗像市
国史跡 宗像神社境内	斎館建替計画に伴う確認調査	文化庁
	社叢整備	宗像市
	斎館撤去	宗像市
	斎館建替に伴う発掘調査	文化庁
	斎館建替	文化庁
	自動販売機設置	宗像市
	電線設置	宗像市
国史跡 田熊石畑遺跡	散水栓設置	宗像市
県指定文化財 八所神社	社叢整理	福岡県

3. 田熊石畑遺跡歴史公園の利活用状況

史跡田熊石畑遺跡を整備した田熊石畑遺跡歴史公園（いせきんぐ宗像）には、令和元年度中に3,456人が来園した。市民を対象とした各種イベントとしては、令和元年7月1日（月）から28日（日）にかけて周年祭として各週末に「古代人暮らし体験（土器・勾玉作り）」「田中幸夫展展示解説」等を行い、同期間中の「夏まつり東郷2019」（7月27日（土）開催）では「弥生のハンター（弓矢体験）」を行った。同年11月17日（日）には、「いせきんぐ宗像秋祭り2019」を開催し、「古代食体験」、「弓矢体験」、「勾玉作り」などを行った。

（単位：人）

月	平成29年度	平成30年度	令和元年度
4月	1,601	1,423	1,901
5月	1,681	1,785	2,081
6月	1,853	1,971	2,271
7月	10,181	10,276	12,254
8月	1,073	850	994
9月	1,370	1,145	1,555
10月	1,711	1,997	2,106
11月	2,320	2,058	3,088
12月	1,994	1,407	1,341
1月	1,264	1,758	1,565
2月	1,306	1,361	1,694
3月	2,160	2,098	2,606
合計	28,514	28,129	33,456

（1）いせきんぐ宗像紙飛行機教室

日程：令和元年4月6日（土）・7日（日）、5月3日（金・祝）・4日（土・祝）、8月10日（土）・11日（日・祝）・25日（日）、9月24日（火）、10月26日（土）

内容：競技用紙飛行機づくりと紙飛行機大会

参加人数：80人

（2）いせきんぐ宗像周年祭マンスリーイベント

日程：令和元年7月1日（月）～28日（日）

内容：古代人暮らし体験（土器・勾玉作り）、田中幸夫展展示解説等。期間中の「夏まつり東郷2019」では「弥生のハンター（弓矢体験）」を実施

参加人数：9,678人

（3）いせきんぐ宗像秋祭り

日程：令和元年11月17日（日）

内容：古代食体験や弓矢体験、土器づくり体験、原始機織り体験、まが玉づくり体験等

参加人数：約600人

(4) いせきんぐ宗像歴史講座

日程：令和元年11月24日（日）、12月14日（土）、令和2年1月18日（土）

内容：第1回「大成洞古墳群は凄いぞ」／講師：宗源永（大成洞古墳群博物館）

第2回「古月横穴墓にいらっしやい」／講師：田中暁（鞍手町歴史民俗資料館）

第3回「中世宗像の貿易拠点「唐坊」」／講師：田上浩司（福津市教育委員会文化財課）

参加人数：66人

(5) 村っ子づくりいせきんぐ事業

日程：毎週火曜日及び金曜日15時～17時（ただし、祝日と振替休日、学校休み期間は除く。）

内容：寄合処で市内小学生の宿題指導、見守り、歴史体験学習、室内遊び等を実施

※福岡教育大学学生ボランティアも参加

参加人数：延べ445人

1 1 新修宗像市史編さん事業

本市では「新修宗像市史編さん基本方針」に基づき、新修宗像市史編集委員会と協働で新修宗像市史を編集し、『新修宗像市史 うみ・やま・かわー地理・自然ー』を刊行した。

1. 宗像市史編さん審議会

宗像市付属機関設置条例に基づき、学識経験者、市民活動団体代表、市民代表等で構成する委員が、市史編さんの基本方針に関し必要項目を審議する機関である。

○宗像市史編さん審議会 委員名簿

任期：平成30年9月1日～令和2年8月31日

	区分	氏名	役職等
1	学識経験者	西谷 正	海の道むなかた館館長
2		伊崎 俊秋	九州歴史資料館文化財調査室長補佐
3		竹川 克幸	日本経済大学教授
4		森 弘子	太宰府発見塾塾長
5		古川 健一	福岡教育大学教授
6	市民活動団体	清木 達子	宗像歴史観光ボランティアの会
7		辻 洋子	むなかた歴史を学ぼう会
8	市民代表	片岡 俊輔	市民公募

2. 新修宗像市史編集委員会

「新修宗像市史編さん基本方針」に基づき、市史編さんに必要な資料の調査及び収集を150件行い、執筆及び編集等に関する必要事項の協議を17回開催した。

○新修宗像市史編集委員会 委員名簿

令和2年3月31日現在

	職名	氏名	備考
1	委員長	西谷 正	総監修
2	副委員長	森 弘子	民俗・美術・建築部会長
3	部会長	竹川 克幸	近世部会長
4	部会長	桑田 和明	中世部会長
5	部会長	時里 奉明	近代部会長
6	事務局長	伊崎 俊秋	原始・古代部会長
7	会計	中原 剛	現代部会長
8	監査	上野 禎一	自然部会長

1 2 大島交流館

世界遺産である「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群、大島の歴史と自然、沖ノ島との関わり、大島の人たちの暮らしなど、大島のさまざまな魅力について、映像や写真、パネル展示などを通じて紹介する。

1. 入館者数

○年間（月）入館者数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29				3,065	2,924	3,045	2,587	2,735	1,400	1,156	1,712	2,255	20,879
H30	2,635	3,071	2,630	2,466	3,322	2,894	2,412	1,820	1,413	1,143	1,066	1,789	26,861
R1	1,986	3,095	2,068	2,082	2,180	1,902	2,318	1,839	1,164	1,007	1,171	1,118	21,930

※大島交流館は、平成29年7月15日開館

2. 大島交流館建物概要

所在地	福岡県宗像市大島901番地4
階数構造	鉄筋コンクリート造 地上3階
敷地面積	684.22㎡
用途地域	指定なし
既存建物床面積	689.48㎡
既存建物建築面積	262.96㎡
既存建物竣工	平成5年3月
現建物床面積	689.48㎡
現建築面積	262.96㎡

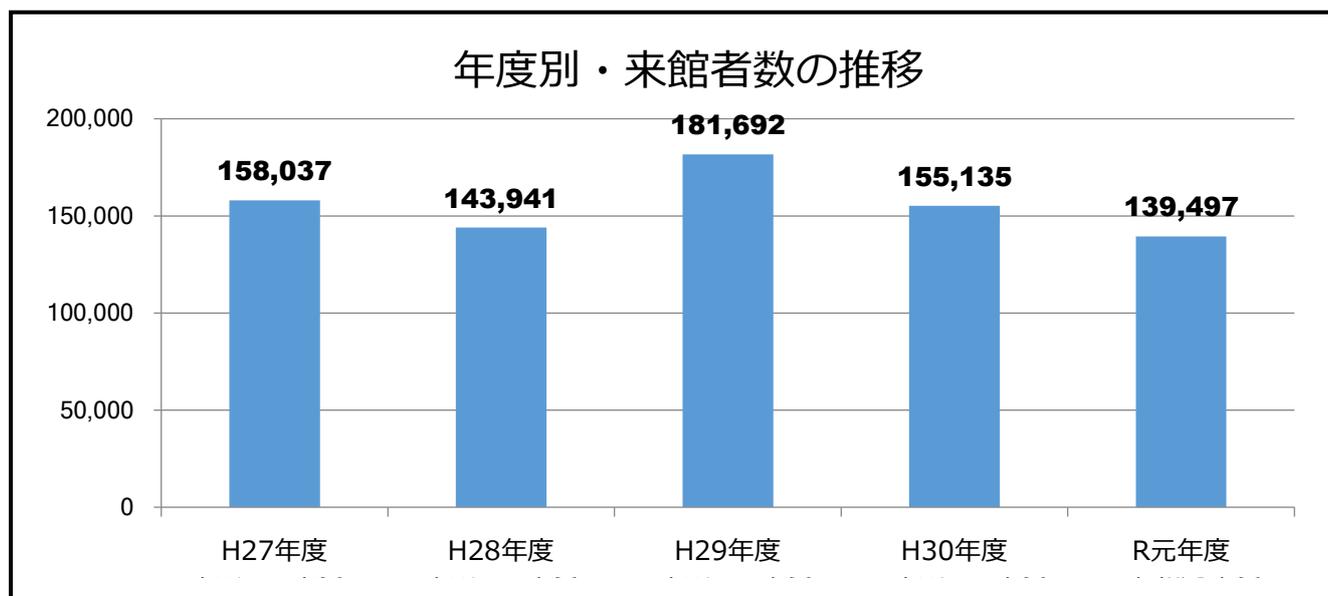
1.3 海の道むなかた館統計

1. 令和元年度 月別入館者数 (単位:人)

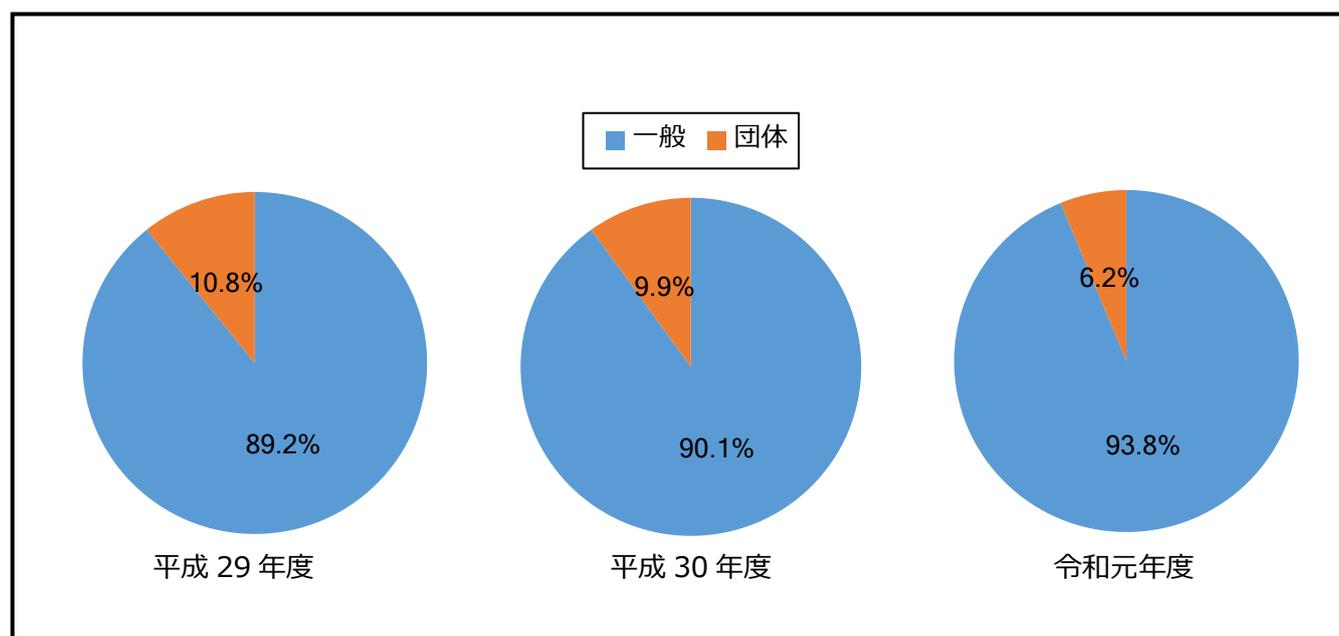
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10,883	11,076	10,419	12,309	10,812	10,145	15,763	13,798	10,186	15,102	11,711	7,293	139,497

※開館以来の累計入館者数 1,156,197人 (令和2年3月31日現在)

2. 年度別・入館者数の推移



3. 年度別・一般および団体の入館者数の割合



4. 市内小・中学校入館者数

(単位：人)

学校名		学年	日程	来館者数
小学校	日の里西小学校	6年	5月14日(火)	52
		3年	6月6日(木)	59
	地島小学校	3・4・5年	5月22日(水)	6
		3年	6月26日(水)	1
	玄海東小学校	6年	5月24日(金)	16
		3年	6月26日(水)	20
	赤間西小学校	6年	5月31日(金)	64
	自由ヶ丘南小学校	6年	6月11日(火)	74
		3年	9月18日(水)	59
	吉武小学校	6年	10月9日(水)	21
	日の里東小学校	6年	6月20日(木)	52
	東郷小学校	6年	6月21日(金)	104
	赤間小学校	4年	10月24日(木)	80
		4年	10月25日(金)	80
	玄海小学校	3年	6月26日(水)	17
		6年	10月10日(木)	12
		4年	10月11日(金)	10
		4年	10月23日(水)	10
		6年	10月29日(火)	9
	河東小学校	6年	6月27日(木)	110
河東西小学校	6年	6月19日(水)	116	
自由ヶ丘小学校	3年	12月5日(木)	83	
	5年	1月31日(金)	98	
中学校	福岡県立宗像中学校	1年	7月3日(水)	80
	玄海中学校	9年	10月8日(火)	5
			合計	1,238

5. 市外小・中学校入館者数

(単位：人)

学校名		学年	日程	来館者数
小学校	福津市立上西郷小学校	6年	4月19日(金)	18
	福津市立福岡南小学校	6年	6月5日(木)	200
	福津市立神興東小学校	6年	6月12日(水)	100
	福津市立勝浦小学校	6年	11月25日(月)	20
	古賀市立千鳥小学校	5年	7月10日(水)	42
	古賀市立青柳小学校	6年	9月10日(火)	45
	福智町立市場小学校	5年	6月28日(金)	60
	うきは市立江南小学校	5年	7月31日(水)	65
	佐世保市立黒髪小学校	6年	11月14日(木)	83
			合計	633

6. 令和元年度団体入館者数

○旅行会社・ツアー

(単位：件・人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	9	8	6	5	3	4	11	13	3	7	6	-	75
人数	309	205	154	157	87	188	268	407	63	238	176	-	2,252

* 3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため受入中止

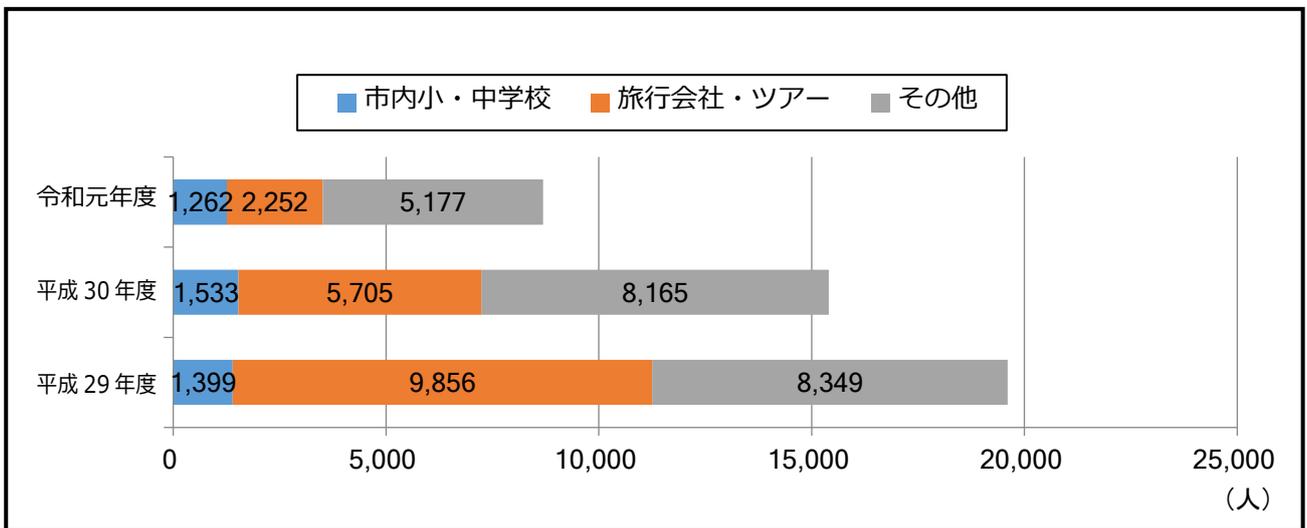
○その他の団体（市内小・中学校を除く）

(単位：件・人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	14	24	19	13	16	20	29	44	10	14	19	-	222
人数	236	508	700	344	306	602	613	1,113	160	262	333	-	5,177

* 3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため受入中止

7. 年度別・団体別入館者数の推移



8. 年度別・団体別入館者数の割合

